

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立誠和福祉高等学校	Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	福祉を専門とする高等学校としての設立時の趣旨を踏まえ、目指す学校像が設定されている。学校として育てたい生徒像を明確に示した適切なものであるが、生徒・保護者・地域などの期待を踏まえ、更に魅力的なものとなるよう検討することを期待したい。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	今年度重点化が図られ、教職員が共有できるように簡潔に目指すところが示されている。目指す学校像を踏まえ、学校の取り組むべき課題が明確かつ具体的に示されており、日々の教育活動の指針となっている。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校の目標に基づいて作成された分掌等のシートの内容を学校全体のシートに反映させるなど、教職員全体の参画を促している。分掌等のシートについては、学校全体の目標に関わる部分と独自の部分に分けて記載されており、学校全体と分掌等が連携しながら目標達成を目指す体制が整えられ、適切な方策が策定されている。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校全体の目標に基づいて、分掌・学年・教科・学科が目標を設定し、教育活動に取り組んでいる。方策の評価指標が、評価項目の達成度を決定する上で、やや判断しにくいものがあるので、評価項目の達成に向けた具体的な方策を策定し、その達成イメージを共有できるような分かりやすいものを設定することが望まれる。
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は学校の現状や課題を踏まえた学校経営の方針を持ち、状況に即して的確にリーダーシップを発揮して、課題解決の方向を示している。目標の達成に向けて学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートや学校関係者評価などを基に、取組を検証するための情報収集に努めている。課題や次年度への改善策を明らかにするために必要なデータとなるようアンケートの対象や設問を工夫するとともに、更にアンケート結果や学校関係者の意見を分析して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。
特記事項		